



八幡小だより

北九州市立八幡小学校
校長 田頭 麗宏



◇◇ 2学期もご理解・ご協力をありがとうございました ◇◇

よいお年をお迎えください

2学期も、保護者・地域の皆様方の温かいご支援により、充実した教育活動ができましたことに心から感謝申し上げます。また、一昨日、昨日は学期末個人懇談会にご参加いただき、本当にありがとうございました。

明日の終業式では、子どもたちに「①2学期の学校生活を振り返って自分の成長を確認すること、②冬休みには『生命の大切さ』について家族としっかりお話をすること、③来年、さらには素晴らしい八幡小学校をつくっていくには一人一人の力が必要であること」などを話す予定にしています。

ご家庭でも、「あゆみ」を広げながら、今学期のがんばりをともに喜んでいただき、新年に向けての励みとなるお話をお願いいたします。なお、「あゆみ」の見方については「八幡小だより10・11号」でお伝えした通りです。1年生も、他学年と同じ評価となります。

また、『生命の大切さ』についてですが、今年も悲しいことに、連れ去りや虐待など子どもたちの生命が脅かされたり、子ども自らが生命を軽視したりするような事件が続きました。ぜひ、ご家庭で話す場を多くもっていただけると幸いです。学校では、道徳科の学習をはじめ学校生活のさまざまな場面で繰り返し指導を行っています。右の5つのポイントはご家庭でのお話でも活用できます。たとえば、年末年始に親戚の方が集まる機会も増えると思います。その際、ご先祖（親族）の昔話をしたり、子どもとよく似ている点を教えたりすることは、



いのちを大切にすることをはぐくむための5つのポイント

- いのちは、つながっている。
- いのちは、リセットできない。
- 人は、多くの人に支えられて生きている。
- 一人一人は、かけがえのない存在である。
- 人は、かかわり合いながら生きている。

北九州市教育委員会発行「かけがえのない命を大切にするために」より

生命のつながりを意識させるきっかけになるのではないのでしょうか。それから、生命に限りがあることを伝えるには、実際にペットや家庭菜園等の世話などを通して、死んだり枯れたりしないように心をこめてかかわるよう働きかけることも効果的だと思います。

この冬休み、安全と健康に留意していただき、1月8日（火）に元気な顔の子どもたちと再会できることを楽しみにしています。



インフルエンザ罹患・感染拡大予防を！

今のところ罹患者はいませんが、例年、冬休み前後の寒さが厳しくなる時期にあわせて流行します。近隣校では罹患者が出ており、八幡西区には学級閉鎖をした学校もあります。冬休みに入りますが、ご家庭でも以下のような対応をよろしく願いいたします。

- ☆うがい・手洗いの励行
- ☆咳エチケットの徹底
- ☆マスク着用（必要に応じて）
- ☆規則正しい生活習慣（バランスの取れた食生活、十分な睡眠など）
- ☆体力づくり
- ☆状況を考えた人ごみへの外出
- ☆早めの受診
- ☆罹患確認後の隔離・休養



おしらせ

新年早々、本校下の「よしぼう橋」付近から高炉台公園登り口（工事中）にかけての車道で、下水道工事が行われるそうです。渋滞や、歩道への大型車両駐車も想定されます。警備員もいるそうですが、登下校には十分ご注意ください。

もしも、年明けにインフルエンザと診断されたならば、始業式前の1月7日（月）に学校（養護教諭：谷崎）へのご連絡をお願いいたします。状況や症状をおうかがいし、場合によっては「出校停止」になるかもしれません。感染拡大により、学級閉鎖や学年閉鎖が続発すれば、学習の進行はもとより、卒業証書授与式やお別れ集会などにも影響が出かねません。まずは予防に努めていただき、感染してしまったら拡大予防にご協力くださいますよう、お願いいたします。